

畑地裏作の飼料栽培

水田裏作も混播（マキ）を

(一) 畑地の綠作、裏作は土地を健康に引戻す
秋迄に収穫される陸稻、甘藷、大豆などの跡地には従来はほとんどが麦類、菜種の栽培でした。

最近の麦や菜種の市場価格ではとても採算がとれません。しかも従来の菜種、麦類の単純な作付の繰返しは土地を極度に老化させてしまいました。

水田の場合は秋落ちというハッキリした形で土地の老化を示しておりますが、畑地の場合はこの形があまり判然としておりませんが、年々多肥を必要とし、病害の発生が甚しくなつてるのは明らかに土地の疲れの結果にもよるわけです。春先の麦の黄化現象もこれでしよう。今の畑地の作物は大方は金肥という散葉と、灌水あるいは降雨という注射で辛うじて働きを続けてる現状といふべきではないでしよう。

この際思い切つて、低価格、極端に表現すれば間に合わない、麦や菜種の作付を減らして、無畜農家も有畜農家も綠作を行つて、先ず土地を健康に引戻しましよう。

クリムソンクロバーの跡地の馬鈴薯や、サツマイモが意外に多収であつたり、イタリアンライグラスの跡地の大麦の生育が良かつたということを各地で耳にするのはこのことを証明する好例であります。

(a) 晩秋に収穫しようとする場合
晩夏に播種され晚秋までに収穫出来るものとしては次のとくものが挙げられます。

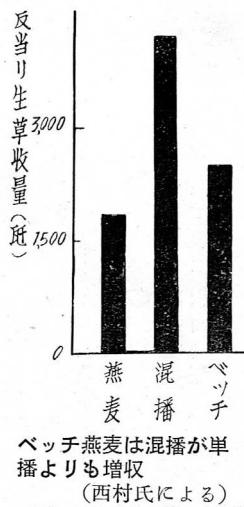
作物名	地方	播種量	播種法	必要生
				育日数
玉蜀黍	北関東	二一立	条播	二二〇日
紫丸かぶ	西南暖地	二五立	条播	二二〇日
ひまわり	玉蜀黍に準じて栽培される場合	一五立	条播	二二〇日
紫丸かぶ	東北	二五立	条播	二二〇日
関東北陸	東北	二五立	条播	二二〇日
ひまわり	玉蜀黍に準じて栽培される場合	二五立	条播	二二〇日
紫丸かぶ	東北	二五立	条播	二二〇日
関東北陸	東北	二五立	条播	二二〇日
ひまわり	玉蜀黍に準じて栽培される場合	二五立	条播	二二〇日
紫丸かぶ	東北	二五立	条播	二二〇日
関東北陸	東北	二五立	条播	二二〇日

(b) 冬に収穫しようとする場合
晩夏から初秋に播種され冬に収穫しようとする場合に利用される作物。

作物名	地方	播種量	播種法	生育日数	反
				必	反
ケーラー	東北	一五立	育苗移植	二三〇日	
レーピ	南部	一六立	交×云播	二三〇日	
下総カブ	各地	一五立	条播	二三〇日	
ルタバガ	各地	一五立	交×云播	二三〇日	
（本圃日数）	（本圃日数）	（本圃日数）	（本圃日数）	（本圃日数）	（本圃日数）
育苗移植	育苗移植	育苗移植	育苗移植	育苗移植	育苗移植
（本圃日数）	（本圃日数）	（本圃日数）	（本圃日数）	（本圃日数）	（本圃日数）
七五〇	七五〇	七五〇	七五〇	七五〇	七五〇
七五〇	七五〇	七五〇	七五〇	七五〇	七五〇

(a) 収量が多くなり従つて生産が上がる。エン麦とペップなどの混播も行われます。
が原則であり、場合によつてはいね科に広葉のレープなどの混播も行われます。
が、裏作の青刈栽培も牧草と同様いね科と荳科の組合せが原則であるでしようか。

(b) 収量が多くなり従つて生産が上がる。エン麦とペップによる。



反応り生草收量（t/ha）
チヤ小麦は増収（西村氏による）

(c) 冬の寒さに強いいね科作物が荳科を保護して寒害から守る。
(d) 荳科のツルのあるものは、いね科を支柱として下葉が腐らない。空間が立体的に使われる。

肥料の利用が具合よく行われる。
作物の生育にムラがなく、よく揃つて出来る。
雜草を抑えたり、土壤流失がよく防げる。
乾草や埋草をつくる場合につくり易い。
家畜の好みも単播よりもよくなる。

二度刈、三度刈の場合利用期間が長くなる。
安全作が期待出来る。紫雲英の冬枯れをベックで、燕麦の冬枯れをイタリアンライでカバーするごときがそのよい例である。

(二) 暖地の陸稻、甘藷、大豆跡地を利用

する冬作飼料栽培

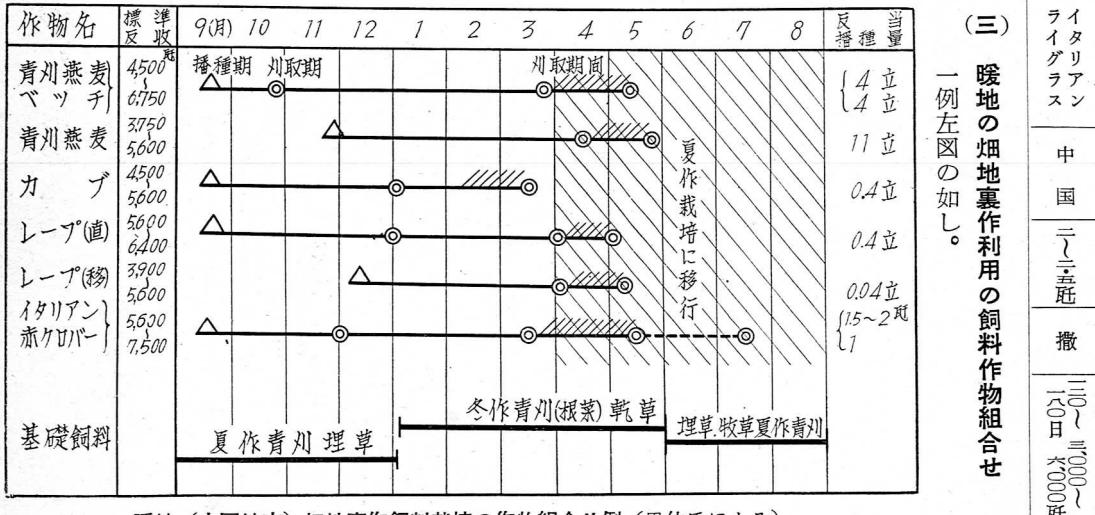
(c) 初秋に播種して冬から早春に収穫利用とする場合の作物。

作物名	地方	播種量										播種法	生産の回数 初回必 要日数
		中部	関東	各地	中国	関東	中国	北陸	九州	中国	関東		
赤クロベー クリムソン	中部	一七・五五	一七・五五	立	立	立	立	立	立	立	立	混播	一四
一七・五五	関東	一七・五五	一七・五五	立	立	立	立	立	立	立	立	六糞条	一四
撒	各地	糞条 六糞条											
糞条 六糞条	播種量	糞条 六糞条											
糞条 六糞条	播種法	糞条 六糞条											
糞条 六糞条	育成日数	糞条 六糞条											
糞条 六糞条	生育日数	糞条 六糞条											
糞条 六糞条	反当収量	糞条 六糞条											

(d) 秋播き早春以降に収穫利用、土壤の若返り効果をも期待出来る牧草類。

(三) 暖地の畑地裏作利用の飼料作物組合せ

一例左図の如し。



跡地作物の增收効果の大きい 畠地のレンゲークリムソンクロバー

軽い土壤、特に火山灰土の磷酸欠乏や、酸性土壤によく生育するクリムソンクロバーは畠地の裏作として、早春の高蛋白飼料生産目的に関東以南の各地の畠地裏作に利用されていますが、クリムソンクロバーは単に飼料として有利なだけでなく、最近は各地で跡地の増収効果が顕著であることを認め、良質の飼料の生産と、耕土培養の両目的を狙つた栽培が非常に増えて来ております。関東附近のクリムソンの多収栽培の一例を示しますと青刈麦類やイタリアンとの混播が有利です。

播種期 九月上旬～九月下旬

播種法 ○クリムソンを畦幅八三糞／九〇糞

播種量 一〇～一・五粍を条播し、

クリムソンが本葉三～四枚の時に
麦類などを畦間に一般青刈栽培と
同様に播種（播種前クリムソンを

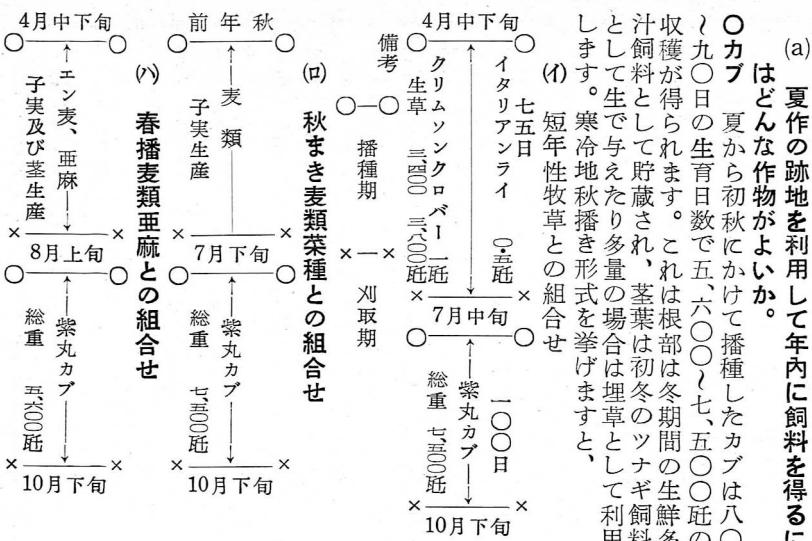
①また逆に畦幅六六糞の麦の間にクリムソンを間作することもよい。

②クリムソンとライ麦
③クリムソンと燕麦

各組合せの収量

計①②	①クリムソンと イタリアン	②クリムソンと ライ麦	③クリムソンと 燕麦
六四、一五七 一三七五粍	六四、一五七 一三七五粍	六四、一五七 一三七五粍	六四、一五七 一三七五粍
二七五粍	二七五粍	二七五粍	二七五粍
計③④	五三、一〇五五〇 六六粍	五三、一〇五五〇 六六粍	五三、一〇五五〇 六六粍
計⑤	六一、八二五〇五 五五粍	六一、八二五〇五 五五粍	六一、八二五〇五 五五粍
なおクリムソンの単作	三、七二二粍	三、七二二粍	三、七二二粍

(四) 寒冷地の麦類、ナタネ、亜麻などの跡地を
利用する飼料作物栽培



麦類特に春播きのエン麦や、亜麻には牧草類の混播を行つてゐる方もありますが、ほとんどはそのまま雑草の生え繁るに任したり、または手廻しの結果は却つて大切な表土を融雪水で惜氣もなくドンドンと流亡さしております。

寒冷地でも作物の選定さえ注意すれば充分に裏作が可能で、土壤流亡も防止出来、更に今までの休閑地から飼料の生産もあります。

(a) 夏作の跡地を利用して年内に飼料を得るには

○ カブ

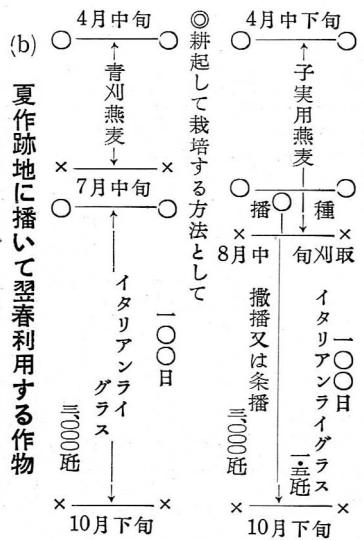
夏から初秋にかけて播種したカブは八〇九〇日の生育日数で五、六〇～七、五〇〇匁の収穫が得られます。これは根部は冬期間の生鮮多汁飼料として貯蔵され、茎葉は初冬のツナギ飼料として生で与えたり多量の場合には埋草として利用します。寒冷地秋播き形式を挙げますと、

(b) 短年性牧草との組合せ

短期間に旺盛な生育をする一年性禾本科放草のイタリアンライグラスの秋播きは寒冷地でも三ヶ月位で約三、〇〇〇匁の生草を生産します。しかしこの草は稚苗時よく日陰に耐えますから、夏作物の刈取り一ヶ月位前に中播き(立毛中播種)が生き、更に霜にも強く降雪まで生育を続けますから初冬の舍飼前の軟らかい栄養価のある草を給与するにはモッテコイの牧草です。栽培の一例を示しますと、

○ 無耕起追肥栽培法として

○ 耕起して栽培する方法として



夏作跡地に播いて翌春利用する作物

ライ麦、ヘヤリーベック、豌豆(オーストリアンウインターピース)、レープが有利です。そしてこれらの作物は何れも単作することなく、混播または交互畾作が有利です。播种時期などについては実採り栽培に準じて行えればよく、また畾幅は三三七四〇糸程度。

組合せ例

ヘヤリーベック麦
(豌豆の場合オーストリアン)
六六立
二五三立
六六立
二五三立
(四六立)
草量を増加し栄養価も高くなる組合せのとれたもの

しかし不良条件に耐えるからといつて、粗放任栽培がよいというのではありません。石灰も施肥し、施肥土地改良も行つてこそ一層アルサイクの威力を發揮してくれることは勿論です。

特に最近育成された四倍体のアルサイクは若干晚生ですが収量も五割程度多い。巨大多収種で、アルサイクの利用価値を一層大にしてくれます。

○ イタリアンライグラス

適応性の広い(不良条件にも耐える)

アルサイク・クロバー

クロバーの中で病気に強く、湿地に育ち、またわが国のほとんどの土壤が酸性であります。

この酸性地にもよく育ち、更に寒さにも強く冬枯れのないのが、アルサイク・クロバーです。すな

わち他のクロバーの生育しないような不良条件に耐えて飼料を生産してくれるのがアルサイク・クロバーであるといふことになります。

それではアルサイク・クロバーは主にどんなところに栽培されるかといいますと、

(a) 赤クロバーの育たないような酸性地、アルサ

イクはpH五位の土地でもよく出来ます。

(b) 紫雲英の育たないような湿田の裏作湿地、は勿論、多少の湛水にも耐えてよく生育します。

(c) 冷涼多雨の気象条件の地帯。

(d) 多湿、酸性の悪条件の泥炭地。

(e) 赤クロバーの病害の多発地帶。

(f) 開花時間が長いのでクロバーの青刈期間の延長を希望する場合。

瘠地にも、暑さ寒さにも強い

ケンタツキーニーフェスク

今まで何を播いても生えなかつたハゲ山が見事な緑地になつたり冬でも青々としている。ということは「奇蹟の草」という称号まで頂戴した。ケンタツキーニーフェスクは不良土壤は勿論、気象上の悪条件にもよく耐えて生育する強健な牧草です。

暑熱の時期にも生々と伸び、真冬でも雪のない地帯では青々としております。そしてこの草は強健でながら雑草化しない利点をも持合わしていいます。草質は多少粗剛ですが幾多の利点を持つケンタツキーニーフェスクは主として次のような場合に利用されています。

- 傾斜地の流亡防止に等高線に畦作りし、自然にテラス（石垣や、シガラ代用）をつくる。
- 日陰にも耐えるために樹林地の草地改良用。
- 防風林の下草として。
- 灌原、野草地の改良にその強健性を利用してラデノクロバー、オーチャードと共に播種。
- 築堤等の法面、堤防の補強を目的とした草生栽培。
- 耕地への藪侵入を防ぐために耕地の周縁に栽培
- 砂地、ハゲ山等の綠化を目的とした栽培
- 放牧期間を長めるために周年旺盛な生育をするケンタツキーニーフェスクを草地に混播する等。

東北、北海道に最適の

いね科永年牧草チモシー

いね科永年牧草で、嗜好もよく、乾草づくりも容易で、その上温潤冷涼な気候によく育ち刈取期が多少遅れても硬化しないのがチモシーであります。

したがつてチモシーは東北、北海道での永年草地混播用としては欠くことの出来ない牧草であります。

寒冷地でのチモシーの良さは

- 耐寒性強く、オーチャードの冬枯れ地帯でも冬損がないこと。
- 酸性土壤に強い。
- 極端な乾燥地（寒冷地にはあまりない）を除いては各種土壤によく出来る。
- 寒冷地での牧草の寿命は一般に長く永年草地が多いが、永年経過しても株化したり、更新後雑草化する事がない。
- 牧草乾草時期、特に一番草の時は一般に雨量多くため刈取りが遅れる場合が多いが、多少遅れてもオーチャードのように硬化しない。
- などの点が他牧草特にオーチャードより有利でありただ欠点としては二番の生育がオーチャード程でないことが残念ですがやはり寒冷地禾本科永年牧草の代表選手です。

暖地の夏に生きる草

常緑の牧草トールオートグラス

適応性に富んだオーチャードも七月の気温が平均二六度以上の地帯になりますと、夏の終りには枯れてしまいます。しかしこのようなところでもよく青々と生育する草、それはトールオートグラスです。ちょうど砂漠のサボテンのようく乾燥と暑さに耐える、常緑の永年性いね科牧草です。

暖地の夏枯れを考えた永年牧草地造成の混播組合せを考えてみますと、次のようなものが適當と思われます。

短年性で生育の早い
多湿な日本の気候に合う

ペレニアル・ライグラス

多湿で冷涼な気候の長い、イギリスで発達したペレニアルライグラスは、日本のような多湿な気候に適した牧草であります。

一方暖地では夏枯れのために永年牧草も多くの場合、秋播きして夏まで利用というのが有利とされていますが、このような短期利用の場合はなるべく短年性的の牧草を使つた方が有利です。それは永年性（寿命の長い草ほど）牧草は初期の生育が遅く、反対に短年性のものは生育が早いからです。つまり秋播きして一年位で牧草を更新する場合はいね科牧草ではペレニアルライグラスが短期間に収量が挙がり断然理想的なものであります。

寒冷地ではラデノとの混播にペレニアル、オーチャードを各〇・五疊ほど混播しますと、一、二年目ラデノとよく競争して伸びてくれますがペレニアルで、オーチャードはその後に旺盛な生育をします。

暖地では、ラデノ、赤クロバーなどと混播しますと春から最高の収量に達し、しかも初期の生育速度もこれらのクロバーと大体同じですから、クロバー類が圧倒されず、共々ニアルは春夏用の草です。

副次草種	トールオートグラス
基本草種	ブルームグラス
ベイブットトレフオイル	イタリアンライグラス レスベデーラ

立庭五疊
二庭五疊
一庭五疊

これから持ける冬季の貯蔵用

生鮮多汁質飼料

カブの栽培

(一) 日本の酪農は根菜の利用が少な過ぎる

生鮮な多汁飼料は家畜の保健上からも、生産を挙げる上からも必要です。これは家畜の健康に必要な、ビタミンが豊富にあり、更に水分に富んでいます。乳牛は牛乳一、八立の生産に水六立が必要だといわれております。その水も生水よりも飼料に含まれた水分の方が遙かに有効であります。ところが、冬期間にこの目的を達してくれるのは飼料はとくと根菜であり、しかもこれから準備出来るものはカブであります。

酪農の先進国デンマークの酪農と北海道酪農の生鮮多汁飼料の利用状況を比較してみますと、

必要総飼料に対し
緑飼料(青草)利用

必要総飼料に
対し根菜利用

デンマーク

北海道

三五・九

四・九

三三・七%

三三・八%

という状況で夏季の青草利用の度合は同じようですが、主として冬期に利用される根菜は青草の割余といふまことに貧弱な状態です。その結果がエンシレージの過給となり、濃厚飼料偏重となり家畜の健康が害され空胎が増加し、飼料高に苦しむといふ不合理を生んでいる原因にもなつてゐると思われます。

日本の酪農はもつともっと、根菜を利用するこ

とを考えなければならぬと思います。

(二) 暖地でのカブの上手なつくり方

カブの栽培で最も大事な感どころは播種期と、播き方です。

(a) 播く時期

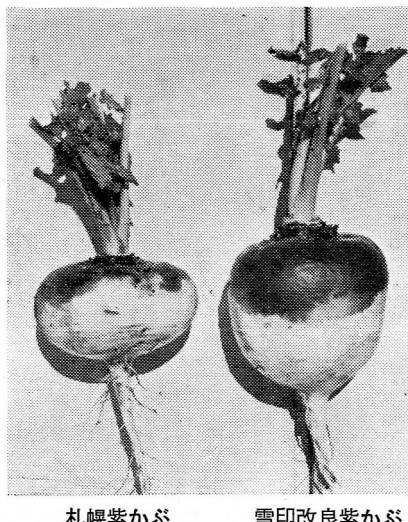
元来カブは乾燥と暑熱が嫌いで、寒さには強く、少々の霜には負けませんが、余り寒くなると生長が止り、凍つて腐敗するようになります。平均気温でC20度以下、C5度以上という、所謂冷涼期につくることが大切です。そしてカブは播種してから一人前の大ささになるために

紫丸カブでは八〇~九〇日

小岩井カブでは九〇~一〇〇日

下総カブでは一〇〇~一一〇日

セブントップでは更に長い生育日数を必要としますから、気温とニラミ合わせて、品種を選



(三) 寒冷地で沢山のカブをとるには

原則的には暖地の場合と同様のことが言えますが、更に生育期間に制約をうけますから、品種は早生早太りの改良紫丸カブを、また播種期は八月の上旬で乾燥し易い時期ですから、出来れば播溝には薄めた牛糞を撒布したり、水をまいて、土壤水分を多くして播種し、発芽を早め、耕起後の整地もデスクハローをかけて耕土を鎮圧し乾燥に過ぎるのを防いだり、整地を丁寧にすることが必要で、肥料は速効性のものを用いるなどの心がけが必要です。

また大根蛆の被害の多いところではヘプタクロールまたはBHCなどの薬剤を播溝に撒布しますと効果があります。

きです。堆肥を入れたために却つて乾燥して発芽不良となり失敗した例もあります。堆肥はムシロ前作物に沢山入れて置きます。肥料は過石一二~二二匁、窒素は大根作りの五割増位を施し、なお不足の様子が見えたら追肥で補えばよい。播種はなるべく薄くまき、本葉が二~三枚の内に間引きます。間引がおくれると腰高の弱い苗となり、その後の生育が遅れます。

畦幅は五六畳~六六畳で株間は二三畳~三三

畳位とし、土地が肥えたり、播種時期が適当で大きなものがとれそうな時には株間を広くしてやります。

(c) 品種の交換

晚生の下総カブや、セブントップを六六畳でつくる時は圃場全部が被覆されるには相当日数を要します。このような時にもう少し畦幅を拡げて、その畦の間に早生の紫丸カブを交互に植え、二ヶ月位で、晚生カブの茎葉が充分に繁つて広い畦幅を必要とするようになつたならば早生の紫丸カブはほぼ一人前になつて来るので、抜取り秋の飼料として利用することも土地高度利用の一方法です。

秋まき葉菜飼料

レープ、C.O.（シーオー）、ケール

今レープ、ケールの反当り飼料り
飼料価の生産を他の青刈類と比較し
てみますと、この関係がよくわかり
ます。

(二) レープは天候や、土質をあまり
選ばない。

レープというものは青刈して飼料に使うナタネで
あります。このレープや、C.O.といつて葉菜
飼料用として新たに作出された合成ナタネ、更に
搔き葉を行つて利用するカンランの一種ケール等
を一般に葉菜飼料と称しており、何れも十字科の
作物です。

(一) 産乳飼料として葉菜類を見直しましよう。

レープについては、水分が多く大した栄養価の
ないものという観念が一般に強いようですが、寧
ろ青刈として栽培の盛んなデンントコーン（モロコ
シナンバ）よりも蛋白含量も高く産乳飼料として
も充分利用出来るものであります。

青刈飼料の反当り飼料価生産比較

青刈玉蜀黍		青刈ライ麦		青刈大豆		青刈エン麦		ケール	
三	三	三	三	一五	四	三	三	一五	四
共	合	全	七	八	全	共	合	一五	四
二	一	六	七	七	一〇	二	一	一五	四
三	三	三	三	八	一五	三	三	一五	四
七	九	五	三	八	元	七	五	七	九
七	七	七	七	七	七	七	七	七	九
九	九	九	九	九	九	九	九	九	九

畦栽培ではよく生育し土質も軽鬆土、酸性土でも高 く繁茂し、非常に栽培し易く、その上短期間に 多収が得られ、集約多毛作的な飼料栽培では欠く ことの出来ない重要なメンバーであります。

(三) 秋播葉菜の種類と品種

a) レープ（青刈ナタネ）

早生で菌核病に強い多収品種で従来のレ
ープに比して約一ヶ月早く刈取出来、麦類の
利用に先立つて収穫出来る。

で、晩生多収の耐寒性に富んだ品種で最も高
普通に栽培されています。刈取適期は

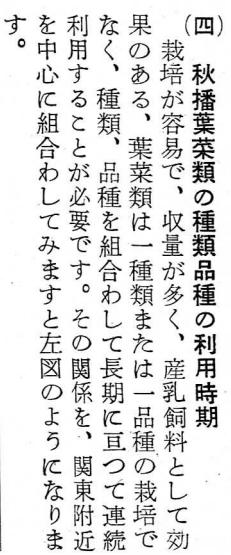
b) C.O.（合成ナタネ）

はライ麦の二週間前位となります。

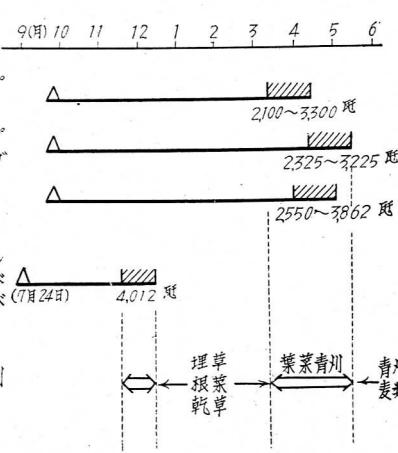
甘藍と白菜の種間雑種で結球せず形
状はレープに似ており葉が大きく、抽
薹の遅いのが特色で、刈取適期はヘン
ブルグと同時期となります。収量はレ
ープを含めて最も多い方です。収量はレ

(六) 利用上の注意

レープの利用は開花期頃までに終るよう
にし、遲刈りのものは葉少く、茎が硬化し、栄養価、嗜
好とも低下します。葉の多い中の早春他の青刈の
ない時期に利用して一層産乳の効果が期待出来ま
す。



葉菜類長期利用の組合せ



(五) 栽培上の注意としては一般実採りナタネに準じてよく、施肥の一例を挙げます

基肥 堆肥一、二〇〇〇匁、硫安一九匁、過石二
三匁、木灰三三八匁
追肥 硫安を秋二回五～六匁、硫安二回一一匁
施肥部位が必要です。

草地にも耕地にも利用される

暑さ寒さに強いオーチャードグラス



暖地草地の成功例（オーチャードを中心とした）

一 オーチャードは日本の北から南の端まで
寒さ暑さに耐えてよく生育する永年牧草

永年牧草であります。

栽培地	牧草名	年収量 (t)	刈取 回数	栽培地の気象		参考事項
				七月の気温 (C)	八月の降水 (mm)	
埼玉県 寄居他	ラデノ、オーチャード	7500~	五~六	25	夏秋がれして八月下旬以降	病害によつて大きな被害をうけ出した
千葉県 市	オーチャード、ラ	2250~ 以上	セ~八	25	洪積火山灰地の開拓地	
福岡県 三井町他	赤クロベー、オーチャード	3500~ 4500	三~四	25~30	山麓地帯で涼	
熊本県 阿蘇郡	ラデノ、赤クロベー	3000~ 4000	二~三	25~30	放牧地用として三年目以降にラデノと組合すよう利用	
山県津市 附近	オーチャーリア	2500~ 3500	二~三	25~30		



オーチャードグラスを主体とした永年放牧地

方型の牧草であり、北海道では八〇年来最も適牧草であるという事で栽培が広いことでもハッキリしておりますが、最近のように暖地酪農の進展に伴つて牧草作りもドンドン南進しており、この場合夏の暑熱に対する牧草の生育が不安となり、

現に西南暖地では、牧草の夏枯れで夏季の緑飼は青刈を主体としておりますが労力の面、土地改良、山野の生産化等を考えると、矢張り永年牧草を主体とした酪農に切換えたいわけで、この夏枯防止に、土壤有機質の補給、灌水、庇陰草地林の造成等に努めていますが、なんといつても耐暑性の強い牧草を栽培することが根本になります。

夏がれは大体七月の平均気温によつて決まるようですが、オーチャードは二〇度C以下の処では数年以上生存し、二六度C以上となつて始めて一年限りで枯死することがあります。しかしわが国で七月の平均気温の二六度C以上という処は福岡県或は熊本県等の九州中央部以南のみです。

従つてオーチャードはこれら一部の地帯を除いた全国各地で夏枯れの心配なく栽培出来る多収な

二 暖地でのオーチャードの多収穫例
暖地の牧草栽培で成功している例をみると、その殆んどには、オーチャードグラスが組合わされております。

三 オーチャードの品種と混播

オーチャードの品種も幾つがありますが、数量的に一般に供給不能のものが多く、一般市場に出廻つているものは

北海道産 早生系統

在来改良種 在来の約二週間晩生の四割多収種輸入種 産地銘柄によつて特性が異なる

等であります。これらの品種の使いわけは特に採草地の場合は混播相手作物と刈取適期の合致することが大事な点です。今もつともオーチャードと混播される赤クロベーについて組合わせをしてみますと次のようにになります。（内は代表的品種）



誰でも随时
入会出来る

雪たね同友会の御案内

○入会手続○

お取引についてのお願い

受信電略 本店 サツボロ・ユキタネ

東京支店 ホンジョ・ユキタネシテン

岡山営業所 オカヤマ・ユキタネ

盛岡営業所 モリオカ・ユキタネ

振替口座 小樽 一八二四八番

- 各種、種子苗木球根を小売価格の一割引いたします。(会員の方は予め割引いて御送金下さい)
- 毎月一回「牧草と園芸」を送ります。
- 御注文の額に応じ新品種その他のお奨め出来る作物種子の試作用小袋を進呈します。

- 雪たね同友会は誰でも入会できます。
- 入会御希望の方は会費(一ヵ年分二百円)を添えて御申込下さい。
- 会費が入金になると会員名簿に登載し証を送ります。

- 会費が切れると会員の資格がなくなりますからそのとき次年度の会費を御送金下さい。
- 農場見学、技術指導が受けられます。
- そのほか適時サービスを行います。

メートル法による種子計量換算表

1 ポンド(听)は	約 0.454 キログラム (454 グラム)
2.2 ポンド(听)は	約 1 キログラム (1,000 グラム)
0.5 キログラムは約 (500 グラム)	1.1 ポンド

1 合は 約 0.18 リットル
5 合は 約 0.9 リットル
1 升は 約 1.8 リットル
1 斗は 約 18 リットル
1 リットルは 約 5 合 5 勺
2 リットルは 約 1 升 1 合
5 リットルは 約 2 升 7 合 5 勺

昭和三十四年一月一日から「たね」の計量単位もすべてメートル法になり、従来の「ポンド」「合升斗」は使用が出来なくなります。
つまり自方(従来はポンド)はキログラム、容積(従来は合、升、斗)はリットルを使うことになります。
弊社では全国にさきがけてこの六月よりメートル法を使用致しますので、左記換算表を御検討の上御協力願います。

- 雪たね同友会は誰でも入会できます。
- 入会御希望の方は会費(一ヵ年分二百円)を添えて御申込下さい。
- 会費が入金になると会員名簿に登載し証を送ります。

- 会費が切れると会員の資格がなくなりますからそのとき次年度の会費を御送金下さい。
- 農場見学、技術指導が受けられます。
- そのほか適時サービスを行います。

◆御注文◆

必ず前金でお願いいたします。

御送金のない御注文の場合は代金引換(一個に付八五円)または貨物引換証付決済(一件に付二〇〇円)でお送りいたしますが諸掛が高額となりますので前金による御注文が御得策です。

御注文の品名、数量、金額、御住所、御姓名は明確に御記入下さい。
尚鉄道便扱のものは揚駅を必ず御持定下さい。

◆御送金◆

同封の振替用紙に所要事知を記入の上御利用下さるのが一番便利で確実です。特にお急ぎの場合は現金書留郵便でお申越し下さい。

◆大口の御注文◆

極力サービス価格でお取引いたしたいと存じますので別に御相談申し上げます。
即刻御回答申し上げますが御注文のお問合せには注文年月日、送金方法、品名、数量、金額を必ずお書き添え下さい。

◆その他◆

雪種同友会員の方は会員番号を御記入の上予め割引いて御送金下さい。(但し弊社発売の飼料作物栽培の手引、草地改良着眼と事例、草地農学の割引はありません)

下されば印刷出来次第お送り申上げます。

尚団体購入等大量御入用の際はその以前に御照会願います。

果樹・飼料木・観賞樹・秋植根球・花木類

1 ポンド(听)は	約 0.454 キログラム (454 グラム)
2.2 ポンド(听)は	約 1 キログラム (1,000 グラム)
0.5 キログラムは約 (500 グラム)	1.1 ポンド